

敬頌新禧 皇室の弥栄を寿ぐ

平河町通信

令和8年
1月1日
第87号発行
内外政治
研究G
代表 宮田修一

国会は「皇族養子案」に決着を！

天皇陛下の

「四方拝」の祈り

天皇陛下には元日の朝まだき、皇居・宮中三殿の神嘉殿南庭において「四方拝」の宮中祭祀に臨まれました。天地四方の神々や皇祖、歴代天皇の御陵を拝され、国家国民の安寧と五穀豊穡、そして世界の平和をお祈りになりました。続く歳旦祭では賢所・皇霊殿・神殿においても、皇統と国家の繁栄を祈念されました。歴代天皇から今上陛下

高市内閣の最大の使命は「安定的皇位継承策」

終結を目指せ

通常国会での

しています。自民・維新の政策合意では、この皇族養子案を優先して令和8年の通常国会で皇室典範改正を目指すとしています。そして、ご公務のご負担軽減のために内親王が結婚後も皇室に残る場合の対応です。これについても、その配偶者と子は皇族としない方向で主要政党の方向性は固まっています。

終結を目指せ

これらの問題では、立憲の野田佳彦代表らが「静謐な環境で議論すべき」というフレーズを「隠れ蓑」にして個人的見解に固執、議論の進展を阻害してきた現実があります。このままでは、いつまでもたっても結論は出ません。民主主義国家として、国会は今年の通常国会で最終判断をすべき時期にきています。



宮内庁は、新年を迎えた皇族の近影（秋篠宮邸にて）

日本は「世界新秩序」に備えよ

台湾包囲訓練は侵略の最終段階

中国の人民解放軍は年末になって、台湾を包囲する形で空域と海域で、重要港湾の制圧を含む軍事訓練を始めました。トランプ政権の台湾への武器売却決定への威圧とさ

米・安全保障戦略は「世界の警察官」を放棄

アトラスとは、ギリシャ神話の「天空を支える巨人神」のことで、NSCの内容は、米国が担った「世界の警察官」の役割を辞め、新たな国際秩序への転換が始まることを示唆しています。

習近平政権は4期目に入る2027年の台湾統一を目標とし、尖閣諸島を「台湾省」の島嶼とみなしており、我が国への脅威も迫っています。その脅威の中で、2026年は米国の強固な同盟関係を維持しつつ、新たな世界秩序に備え、どのように独自の防衛力を高め、重要な課題となっています。

自民・維新は

「皇族養子案」を最優先

天祐とも言える昨秋の高市早苗首相の誕生によって、日本は寸手のところまで救われました。今年はその日本が進むべき道を具体的に定める重要な年です。先ずは男系男子の皇位継承を確実にするための方策です。ご皇室の現状に鑑みて真っ先に具体化させなければならぬのが、終戦後に皇籍離脱を余儀なくされた旧皇族の男系男子孫を皇族の養子としてお迎えするための法整備です。

これについては、党としての見解を明確にしない立憲を除き、主要政党の方向性は一致

【参考】自民・維新の政策合意内容

古来例外なく男系継承が維持されてきたことの重みを踏まえ、現状の継承順位を変更しないことを前提とし、安定的な皇位継承のため、皇室の歴史

に整合的かつ現実的である「皇族には認められない養子縁組を可能とし、皇統に属する男系の男子を皇族とする」案を第一優先として、26年通常国会における皇室典範の改正を目指す